

# 議 事

(仮称)丘珠空港周辺地域まちづくり構想骨子について

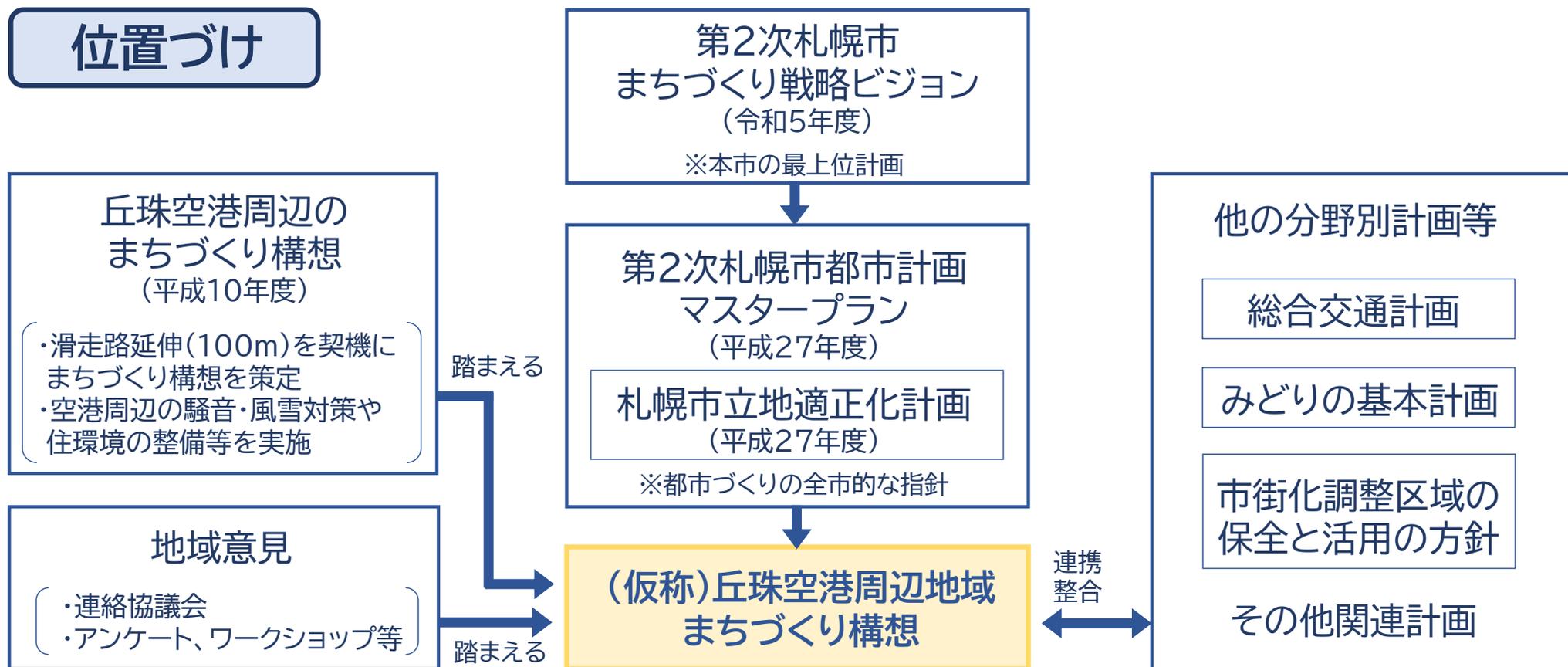
# 構想の目的と位置づけ(案)

## 目的

丘珠空港整備の事業化を見据え、丘珠空港周辺地域が目指すまちづくりや取組の方向性を関係者間で共有し、具体的取組につなげていくこと。

→ 構想を基本的な指針として、地域と協議しながら、空港周辺のまちづくりを推進

## 位置づけ



## 丘珠空港を核とした賑わいの創出

○背景～少子高齢化、人口減少

- ・令和3年、札幌市の人口は戦後初めて減少
- ・全市的に、定住人口の増加を見込むのは難しい状況

まちの活力低下が懸念



「空港機能の強化」と「交流人口の増加」をきっかけに、  
空港及び周辺地域の賑わいの創出に取り組んでいく。

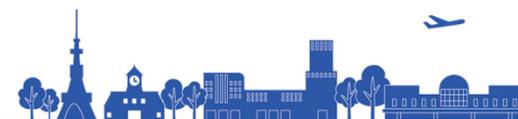


賑わいの先に見込まれる  
効果(イメージ)

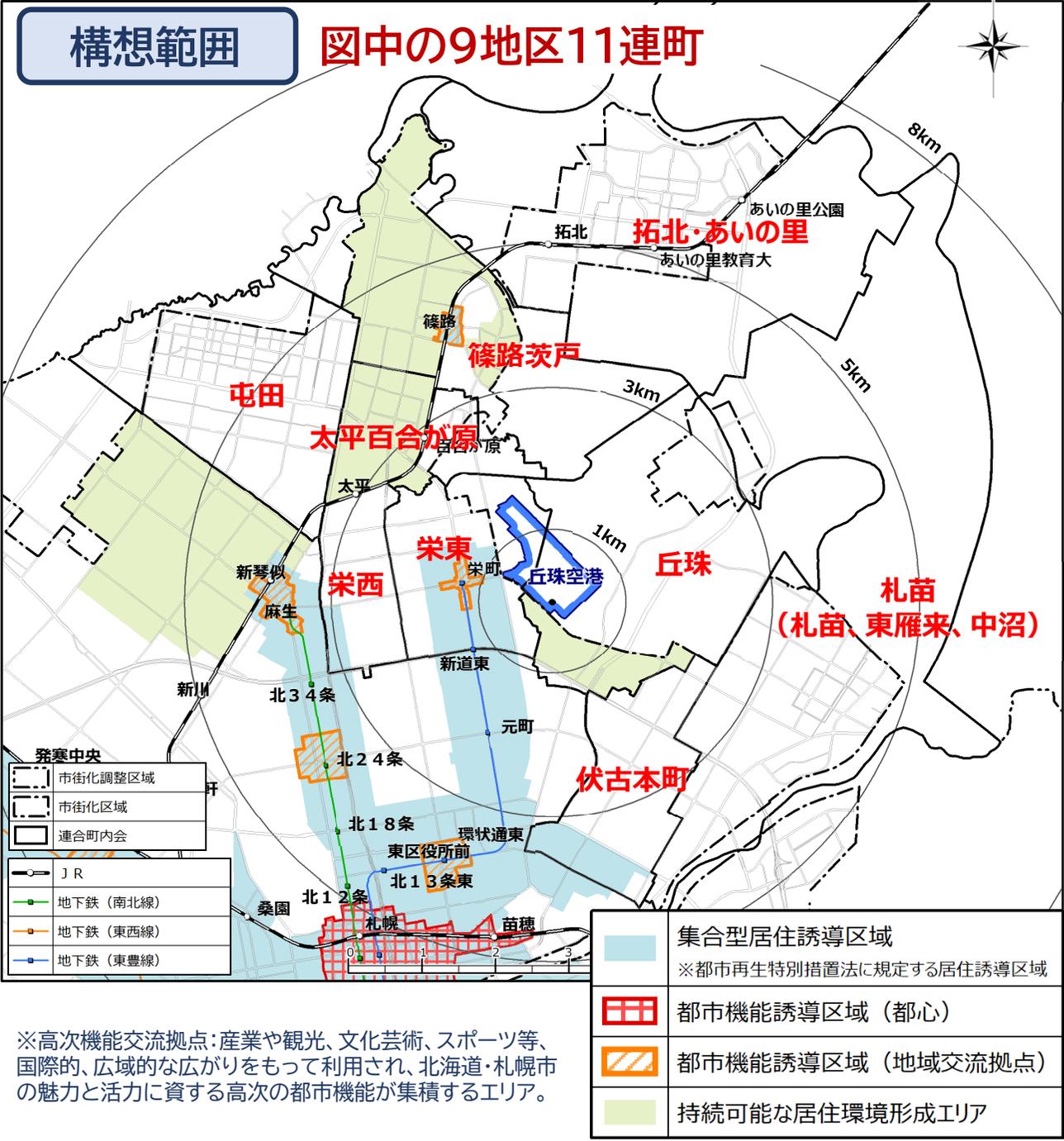
地域の魅力向上

交流促進

定住人口の増加



# 構想範囲(案)と都市計画上の位置づけ



## 都市計画上の位置づけ

- 都市機能誘導区域**

  - 篠路駅周辺 ○栄町駅周辺

医療・福祉・商業等の都市機能を集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域(都市の中心拠点や生活拠点)。
- 集合型居住誘導区域**

  - 篠路駅周辺 ○伏古本町の一部、
  - 栄東の地下鉄沿線 ○栄西の一部

人口分布の偏在を是正しつつ人口密度の維持・増加を図るため、土地の高度利用を基本とした集合型の居住機能を集積する区域。
- 持続可能な居住環境形成エリア**

  - 篠路、○太平百合が原、○丘珠

生活・交通利便性を確保しつつ持続的な地域コミュニティの形成を目指すエリア。人口減少速度が速まることが予想されるが、一定の居住需要が継続的に存在。
- 高次機能交流拠点※(新たに位置づけ)**

地区の中心に位置する丘珠空港及び周辺を「高次機能交流拠点」に位置付け(令和5年10月)

➔広域交通拠点である丘珠空港の特性に応じた相乗効果が期待できる民間開発の誘導や、民間活力を生かした都市機能の集積を展開



# 取組の方向性と全体イメージ(案)

## 環境への配慮

- 【前提】
- ・安全運航の確保
  - ・騒音の環境基準値内での運航

- 安全確保に関する要請(国等)
- 騒音調査の拡充(期間、地点)
- 増便に伴う騒音予測の実施
- 迅速・丁寧な情報発信

## 空港機能の拡充

- 【前提】
- ・将来の利用者増へ幅広く対応
  - ・誰もが気軽に利用したくなる空港

- 施設規模・配置の検討
- 空港ビルの商業機能の充実★
- 安定運航確保に向けた調整  
(定期便離発着と駐屯地訓練の両立)

一体的に検討

## 空港近隣への関連産業誘致

- 【前提】 空港整備の事業化の状況を踏まえ取組を展開

- 地域ニーズや社会動向を踏まえ、空港周辺への民間投資の誘導や、丘珠空港緑地も含めた周辺土地利用の在り方を検討

★地域の意見等を踏まえ、空港ビルに求められる機能や規模を検討し、令和6年度に基本計画としてまとめることを予定(札幌丘珠空港ビル株)。

## 交通アクセス改善

- 【前提】 増便と空港利用者の増加に対応した交通アクセスの充実

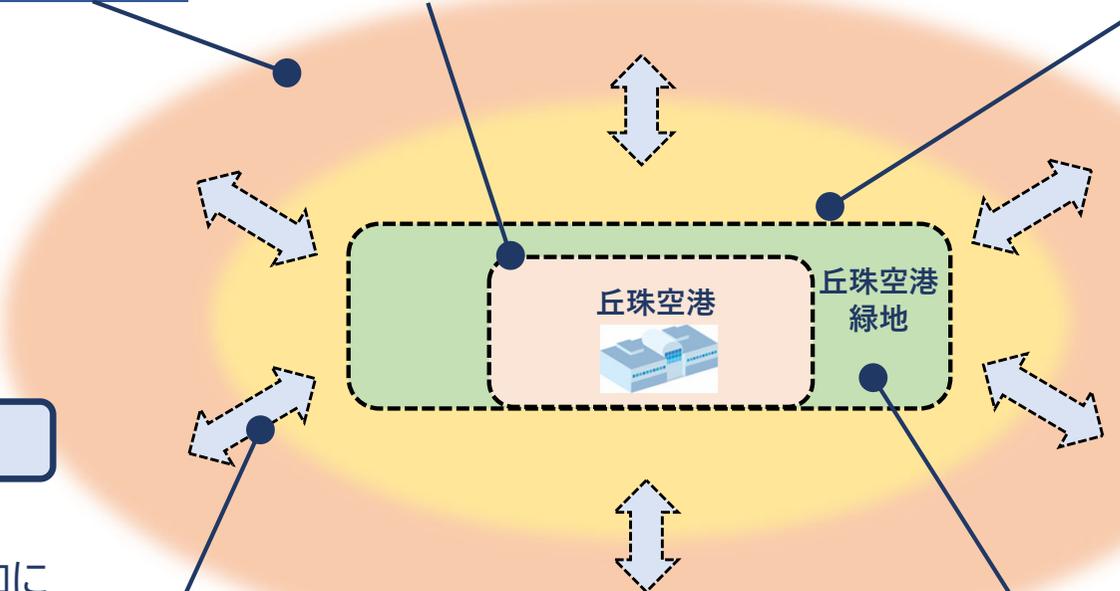
- 空港駐車場の拡張について国や関係機関と協議
- 空港連絡バスのシャトル化や乗合タクシー運行等の実現に向けた検討

## 緑地機能確保と賑わい創出

- 【前提】 空港緑地が減少する中においても、緩衝機能とレク機能を確保

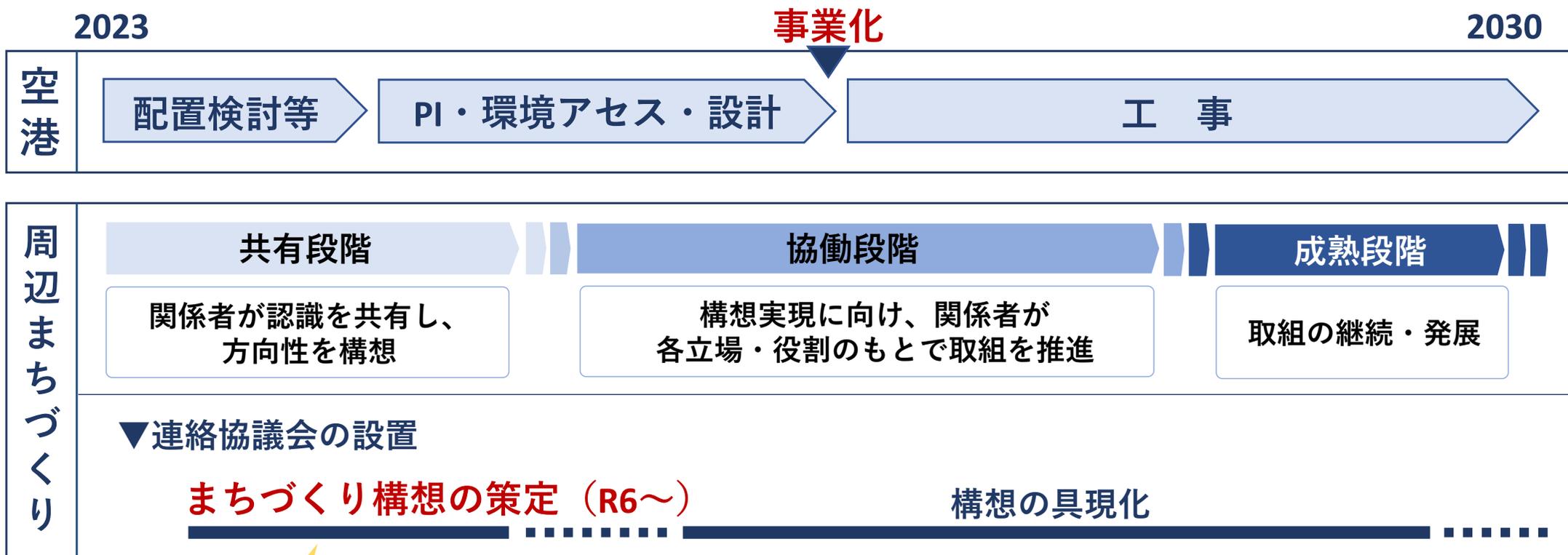
- 樹林帯による地上騒音対策
- カフェやスポーツ施設等、賑わいに繋がる緑地の活用
- 空港や周辺施設等との連携

※このほか、地域と協議しながら必要な取組を盛り込んでいくことを想定。



# 構想策定スケジュール(案)

■ 空港整備の進捗と地域ニーズを踏まえながら、取組を推進



## 【進め方】

- 連絡協議会で意見交換を重ねながら、構想をブラッシュアップ
- 策定過程において、地域意見（アンケート等）や有識者の見解を収集・反映
- 国による空港機能強化検討や、関連計画（市）の検討状況等を踏まえ策定

